

## 2013 年（平成 25 年）の近畿地方の天候

本資料は、近畿地方の 11 の観測地点（近畿日本海側：豊岡、舞鶴、彦根、近畿太平洋側：京都、神戸、姫路、洲本、大阪、奈良、和歌山、潮岬）による観測データをもとにまとめました。

### 1 2013 年（平成 25 年）の特徴

#### ○ 冬は寒く、夏は暑く、3 月と 10 月は記録的な高温に

近畿地方の月平均気温平年差（図 1）及び半月気温平年差（図 2）を見ると、1～2 月は冬の気圧配置となることが多く寒気の影響を受けやすかったため、月平均気温は平年並か低くなりました。3 月は南から暖かい空気が入ることが多く、月平均気温はかなり高くなり、統計開始以来第 2 位となりました。豊岡と潮岬では月平均気温の高い方からの 1 位を更新しました。6～8 月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、月平均気温は高くなりました。10 月は上旬に高気圧に覆われて晴れた日が多く気温がかなり高くなり、旬平均気温が統計開始以来第 1 位となりました。また、月平均気温もかなり高く、統計開始以来第 2 位となりました。彦根、神戸、大阪、奈良では月平均気温の高い方からの 1 位を更新しました。11 月中旬以降は冬の気圧配置となることが多く寒気の影響を受けやすかったため、11 月と 12 月の月平均気温は低くなりました。

年平均気温平年差は $+0.3^{\circ}\text{C}$ で「平年より高い」階級となりました。

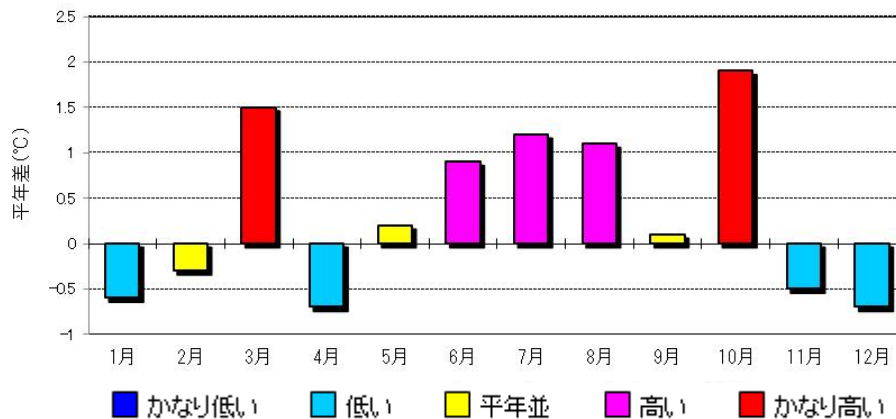


図 1：2013 年（平成 25 年）の近畿地方の月平均気温平年差（近畿 11 観測地点の平均）

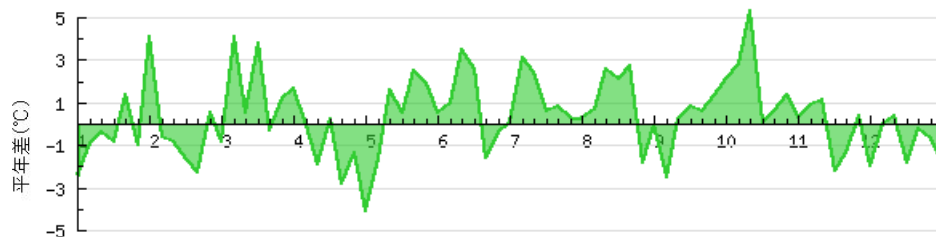


図 2：2013 年（平成 25 年）の近畿地方の半月気温平年差（近畿 11 観測地点の平均）

○ 5月の近畿地方の降水量は、統計開始以来最も少なかった

近畿日本海側の月降水量の平年比を見ると（図3）、9月と10月は台風（第18号、第24号、第26号、第27号）や秋雨前線、12月は低気圧等の影響で降水量が多くなりましたが、その他の月は平年並か少なくなりました。3月と5月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、かなり少なく、3月には豊岡、5月には舞鶴で月降水量の少ない方からの1位を更新しました。

年降水量平年比は103%で「平年並」となりました。

近畿太平洋側の月降水量の平年比を見ると（図4）、2月は低気圧、6月は梅雨前線、9月と10月は台風や秋雨前線、12月は低気圧等の影響で降水量が多くなりましたが、その他の月は平年並か少なくなりました。5月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、かなり少なく、和歌山で月降水量の少ない方からの1位を更新しました。

年降水量平年比は107%で「平年より多い」階級となりました。

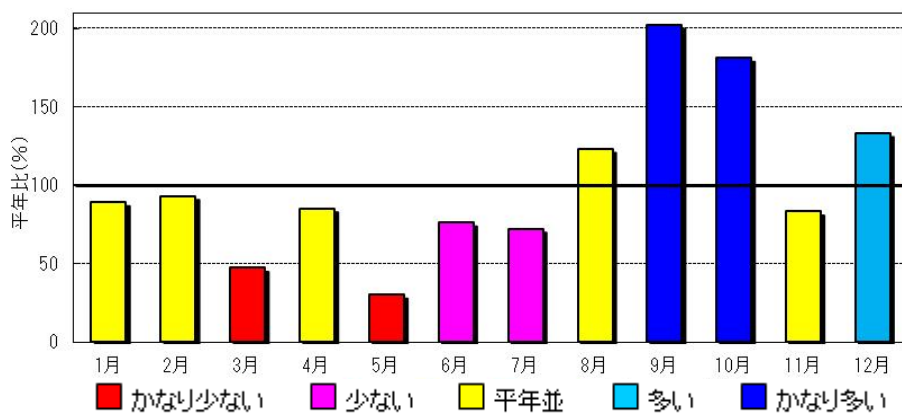


図3：2013年（平成25年）の近畿日本海側の月降水量平年比（近畿3観測地点の平均）

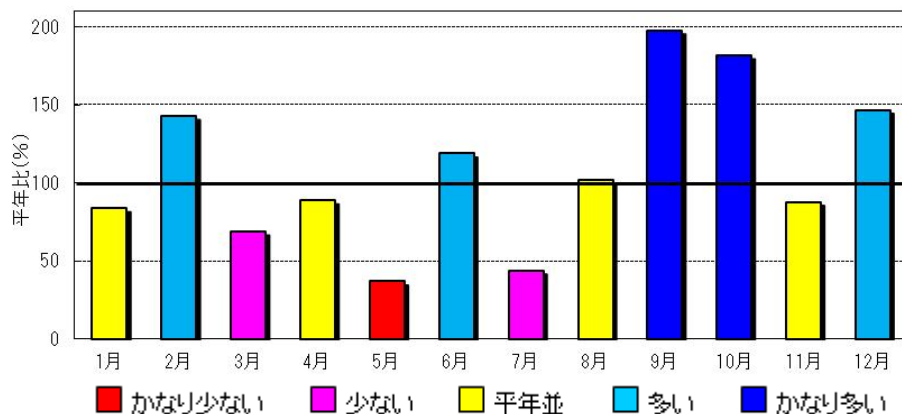


図4：2013年（平成25年）の近畿太平洋側の月降水量平年比（近畿8観測地点の平均）

○ 5月と9月の近畿地方の日照時間は、統計開始以来最も多かった

月間日照時間の平年比を見ると（図5、図6）、近畿日本海側、近畿太平洋側とも、平年並か多い月が多くなりました。特に5月と9月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、近畿日本海側及び近畿太平洋側でかなり多くなり、9月は舞鶴と姫路で月間日照時間の多い方からの1位を更新しました。

年間日照時間の平年比は、近畿日本海側で113%、近畿太平洋側で111%といずれも「平年よりかなり多い」階級となり、舞鶴と大阪で年間日照時間の多い方からの1位を更新しました。

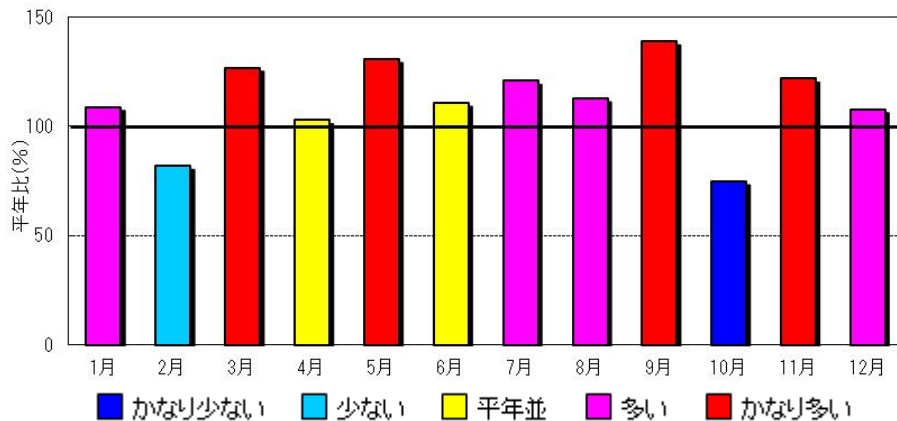


図5：2013年（平成25年）の近畿日本海側の月間日照時間平年比（近畿3観測地点の平均）

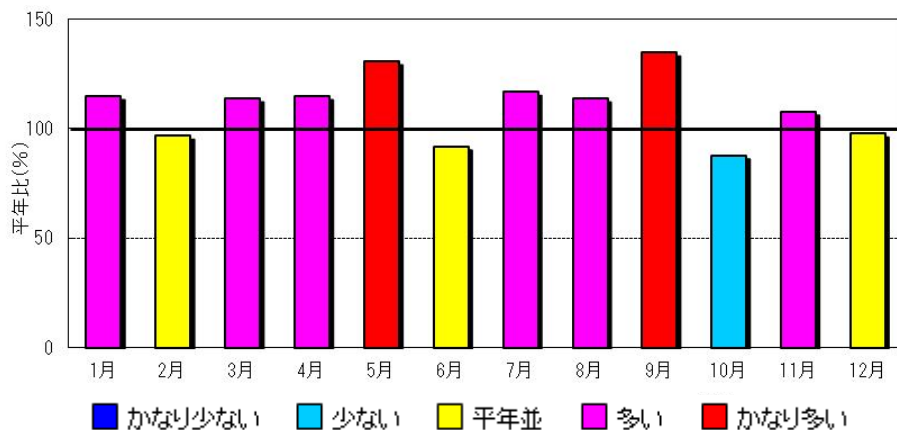


図6：2013年（平成25年）の近畿太平洋側の月間日照時間平年比（近畿8観測地点の平均）

○ 大阪の猛暑日継続日数が最長となった

大阪で観測された猛暑日<sup>※</sup>の継続日数が17日となり、1920年の統計開始以来最長となりました。

今年の夏は、太平洋高気圧が南海上から西日本に強く張り出しました。また、その上空にチベット高気圧も日本付近に張り出したため、西日本は背の高い高気圧に覆われて、晴れた日が多くなりました。このため、大阪市でも連日気温の高い状態が続き、猛暑日の継続日数が1942年（昭和17年）の記録を上回りました。

※ 猛暑日とは、日最高気温が35度以上の日をいいます。

表1：大阪の猛暑日継続日数

順位	年	継続日数
1	2013	17日(8/7～8/23)
2	1942	16日(7/21～8/5)
3	2010	14日(8/16～8/29)

○ 表2に各気象要素の統計値を示します。

表2：2013年（平成25年） 近畿地方地域平均平年差（比）と階級

月	平均気温		降水量				日照時間			
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
	全域		日本海側		太平洋側		日本海側		太平洋側	
1月	-0.6	-	89	0	84	0	109	+	115	+
2月	-0.3	0	93	0	143	+	82	-	97	0
3月	+1.5	++	47	--	69	-	127	++	114	+
4月	-0.7	-	85	0	89	0	103	0	115	+
5月	+0.2	0	30	--	37	--	131	++	131	++
6月	+0.9	+	76	-	119	+	111	0	92	0
7月	+1.2	+	72	-	44	-	121	+	117	+
8月	+1.1	+	123	0	102	0	113	+	114	+
9月	+0.1	0	202	++	198	++	139	++	135	++
10月	+1.9	++	181	++	182	++	75	--	88	-
11月	-0.5	-	83	0	88	0	122	++	108	+
12月	-0.7	-	133	+	147	+	108	+	98	0

階級表示：-- かなり低い(少ない)、- 低い(少ない)、0 平年並、+ 高い(多い)、++ かなり高い(多い)

※近畿地方の地域平均は以下の11地点の平均を示す

日本海側（豊岡、舞鶴、彦根） 太平洋側（京都、神戸、姫路、洲本、大阪、奈良、和歌山、潮岬）

※階級については、平年からの偏りの程度を示す

「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

○ 近畿地方の梅雨入り、梅雨明けともに平年よりかなり早かった

近畿地方の梅雨入りは5月27日ごろ(平年：6月7日ごろ)、梅雨明けは7月8日ごろ(平年：7月21日ごろ)で、ともに平年よりかなり早くなりました。

表3：「梅雨の時期の降水量※一覧表」(期間：6～7月)

地点名	実況値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
豊岡	199.0	336.8	59
舞鶴	294.0	350.4	84
彦根	317.0	408.2	78
京都	313.5	434.4	72
神戸	277.0	333.7	83
姫路	327.0	331.6	99
洲本	303.5	340.6	89
大阪	316.0	341.5	93
奈良	331.5	353.9	94
和歌山	261.0	333.5	78
潮岬	426.5	642.5	66

※「梅雨の時期の降水量」は、実況値・平年値ともに概ね梅雨の期間に相当する6～7月の2か月間降水量です。

○ 近畿地方への台風の上陸はなし、接近数は3個であった

近畿地方に上陸した台風はありませんでした。

接近数は、3個(台風第18号、第24号、第26号)でした(平年値：3.2個)。

## 2 月別の概況

- 1月：寒気の影響を受けやすく、冬型の気圧配置となる日が多くなりました。日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側は晴れの日が多くなりました。3日から4日と、26日から28日は、強い寒気の影響で日本海側を中心に大雪となりました。
- 2月：期間のはじめと終わりに、南から暖かい空気が入り気温が高くなりましたが、その他の期間は寒気の影響を受けやすく、気温の低い日が多くなりました。天気は日本海側は曇りや雪または雨の日が、太平洋側は晴れの日が多くなりました。
- 3月：低気圧と高気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わりました。また、日本海北部から北日本付近で低気圧が発達しやすかったため、南から暖かい空気が入り気温がかなり高く、1946年の統計開始以来、第2位となりました。
- 4月：低気圧と高気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わりました。6日から7日にかけては、日本海を急速に発達しながら北東進した低気圧の影響で大雨となり、荒れた天気となった所がありました。中旬の終わりから下旬にかけては、強い寒気が南下した影響で気温が低くなり、下旬はかなり低くなりました。
- 5月：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧や前線及び湿った気流の影響で曇りや雨の日もあり、中旬には低気圧の影響で太平洋側では大雨となった所がありました。高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、1946年の統計開始以来、降水量は最も少なく、日照時間は最も多くなりました。近畿地方は5月27日ごろに梅雨入りしました。
- 6月：期間の前半は、日本海側では高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、太平洋側では梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。期間の後半は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。中旬の終わりから下旬の中頃にかけては、梅雨前線の影響で記録的な大雨となった所がありました。
- 7月：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、湿った気流や上空の寒気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨となった所がありました。近畿地方は7月8日ごろに梅雨明けしました。
- 8月：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日もありました。また、強い日射等の影響で大気の状態が不安定となり、大雨となった所がありました。中旬は1961年の統計開始以来、気温は高い方から1位、降水量は少ない方から1位、日照時間は多い方から1位となりました。
- 9月：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、期間のはじめは前線や台風から変わった低気圧の影響で大雨となった所がありました。15日から16日は台風第18号や前線の影響で、近畿地方の各地で日降水量が9月としての1位を更新する等、記録的な大雨となり、大きな被害が発生した所がありました。高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、近畿地方の日照時間は1946年の統計開始以来、9月として多い方からの1位となりました。
- 10月：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、台風（第24号・第26号・第27号）や前線等の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨となった所がありました。なお、10月の気温は上旬に記録的な高温となったこと等から、1946年の統計開始以来、高い方からの2位となりました。
- 11月：上旬は、高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わりました。中旬以降は、冬型の気圧配置となった影響で、日本海側では曇りや雨の日が、太平洋側では晴れた日が多くなりました。
- 12月：日本海側では、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置となった影響で、曇りや雨または雪の日が多くなり、中旬以降は大雪となった所がありました。太平洋側では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日もありましたが、晴れた日が多くなりました。

### 3 2013年（平成25年） 近畿地方気候表

表4：年平均気温

地点名	年平均気温		
	気温(°C)	平年値(°C)	平年差(°C)
豊岡	14.9	14.3	+0.6
舞鶴	14.8	14.5	+0.3
彦根	15.1	14.7	+0.4
京都	16.2	15.9	+0.3
神戸	17.0	16.7	+0.3
姫路	15.5	15.2	+0.3
洲本	15.6	15.5	+0.1
大阪	17.1	16.9	+0.2
奈良	15.3	14.9	+0.4
和歌山	17.0	16.7	+0.3
潮岬	17.5	17.2	+0.3

表5：年降水量

地点名	年降水量		
	降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
豊岡	1996.5	2027.1	98
舞鶴	2093.0	1826.6	115
彦根	1492.0	1570.9	95
京都	1450.5	1491.3	97
神戸	1297.5	1216.2	107
姫路	1465.5	1199.0	122
洲本	1650.0	1406.6	117
大阪	1418.0	1279.0	111
奈良	1505.5	1316.0	114
和歌山	1369.5	1316.9	104
潮岬	2112.5	2519.0	84

表6：年間日照時間

地点名	年間日照時間		
	日照時間(h)	平年値(h)	平年比(%)
豊岡	1633.9	1489.4	110
舞鶴	1784.9	1538.8	116
彦根	2073.4	1825.8	114
京都	1939.8	1775.1	109
神戸	2255.4	1995.1	113
姫路	2196.2	2032.6	108
洲本	2268.9	2066.8	110
大阪	2299.5	1996.4	115
奈良	2004.2	1823.0	110
和歌山	2281.9	2088.8	109
潮岬	2515.8	2201.2	114

注：データの「」は、「準正常値」で、統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合に付加しています。

4 2013年(平成25年) 年極値・順位値更新表

表7:「年間日照時間の多い方から」の順位更新表

順位	地点名	年間日照時間			
		日照時間(h)	平年値(h)	平年比(%)	統計開始年
1	舞鶴	1784.9	1538.8	116	1947
	大阪	2299.5	1996.4	115	1890
2	神戸	2255.4	1995.1	113	1898
	潮岬	2515.8	2201.2	114	1913
3	彦根	2073.4	1825.8	114	1895
	奈良	2004.2	1823.0	110	1953

注:年平均気温、年降水量合計、年間日照時間について、極値・順位値が更新された統計項目について掲載しています。また、掲載は、極値・順位値3位までの更新分としています。

5 2013年(平成25年) 月別極値・順位値更新表

表8:「月平均気温の高い方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月平均気温			
			平均気温(°C)	平年値(°C)	平年差(°C)	統計開始年
3	1	豊岡	8.6	6.7	+1.9	1918
		潮岬	13.6	11.3	+2.3	1913
	2	舞鶴	8.7	7.0	+1.7	1948
		神戸	10.8	9.3	+1.5	1897
		和歌山	11.2	9.5	+1.7	1880
	3	奈良	9.1	7.6	+1.5	1954
		大阪	10.7	9.4	+1.3	1883
洲本	9.7	8.2	+1.5	1919		
6	2	姫路	23.3	22.1	+1.2	1948
		奈良	23.1	21.9	+1.2	1953
	3	神戸	24.0	23.2	+0.8	1897
8	2	神戸	29.4	28.3	+1.1	1897
		和歌山	29.3	28.1	+1.2	1879
	3	潮岬	27.9	26.7	+1.2	1913
10	1	彦根	19.3	17.1	+2.2	1893
		神戸	21.2	19.3	+1.9	1897
		大阪	20.8	19.0	+1.8	1883
		奈良	18.9	16.6	+2.3	1953
	2	豊岡	18.1	16.1	+2.0	1918
		舞鶴	18.4	16.5	+1.9	1947
		京都	20.0	17.8	+2.2	1881
		姫路	19.3	17.3	+2.0	1948
		洲本	19.4	17.9	+1.5	1919
		和歌山	20.6	18.8	+1.8	1879
3	潮岬	21.1	19.8	+1.3	1913	

表9:「月降水量の多い方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月降水量			
			降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	統計開始年
12	3	姫路	82.0	36.7	223	1948

表10:「月降水量の少ない方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月降水量			
			降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	統計開始年
3	1	豊岡	62.0	148.1	42	1918
5	1	舞鶴	42.5	144.5	29	1947
		和歌山	28.5	150.0	19	1880
	2	豊岡	31.0	128.7	24	1918
		京都	38.0	160.8	24	1881
		奈良	41.0	143.5	29	1953

表 11：「月間日照時間の多い方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月間日照時間			
			日照時間(h)	平年値(h)	平年比(%)	統計開始年
1	2	潮岬	239.4	189.1	127	1913
4	2	潮岬	246.5	191.9	128	1913
5	2	彦根	264.2	191.6	138	1895
		大阪	263.9	194.3	136	1890
9	1	舞鶴	187.1	131.1	143	1947
		姫路	211.5	156.9	135	1948
	2	彦根	213.1	156.5	136	1895
		神戸	221.7	153.2	145	1897
		大阪	218.2	156.7	139	1890
	奈良	206.2	150.3	137	1953	
	3	洲本	217.1	163.1	133	1919
11	2	舞鶴	128.5	97.8	131	1947

注：月平均気温、月降水量合計、月間日照時間について、極値・順位値が更新された統計項目について掲載しています。また、掲載は、極値・順位値3位までの更新分としています。  
 なお、各統計項目が掲載されていない月は、極値・順位値に更新はありません。